

亜くろいし 市議会たより



vol. 27

令和元年12月1日発行



「令和の時代も平和であれ」（写真提供者 黒石市在住 原田さん）

表紙の写真を募集しています

- ◆応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- ◆応募作品…市内で撮影された風景、まつり、行事などのデジタル写真データ
- ◆応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、メール、持参（議会事務局まで）等してください。
- ◆メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- ◆注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。詳細はホームページまたは議会事務局へお問い合わせください。

目次

第3回定例会議案審議 2～3

一般質問 など 4～7

議員活動報告書 8

第3回定例会議案審議

議決された議案の中から

主なものを紹介します。

○令和元年第3回定例会

会期18日間

9月3日～9月20日

○第3回定例会で議決した議案等

市長提出議案等45件の中から
主なものをお知らせします。

なお、議案等に対する各議員の
賛否状況については、次ページ下
に記載しております。

また、全ての議案名とその結果
は、市議会ホームページでごらん
ください。

平成30年度決算が

認定されました



平成30年度一般会計、各特別会計、各財産区会計、各公営企業会計及び南黒地方福祉事務組合一般会計決算については、議員全員をもって構成する決算特別委員会での審査を経て、本会議において、全て認定されました。

なお、一般会計及び国民健康保険、介護保険特別会計については、起立採決により、賛成多数で認定されました。

○平成30年度黒石市一般会計決算

歳入総額

170億6899万7千円

歳出総額

167億3721万1千円

歳入歳出差引

3億3178万6千円

令和元年度9月補正予算を

可決しました



今期定例会では、予算に関する議案として10件の補正予算案が提出されました。その中から、一般会計予算案では黒石ICロジスティクススクロッシンぐ看板設置工事費、道路舗装長寿命化計画策定業務委託料等が盛り込まれた内容となっております。

市議会では、これらを含む補正予算案について、審議の上、原案のとおり可決しました。

人権擁護委員の推薦につき 意見を求めることについて



人権擁護委員法の規定による、人権擁護委員の推薦について同意しました。

住所 黒石市大町一丁目64番地

氏名 野呂 佐枝子

生年月日 昭和36年4月18日

財産の無償譲渡について



廃止した黒石市立東英中学校の土地の売却に伴い、建物を無償譲渡するため、地方自治法の規定による提案があり、原案のとおり可決されました。なお、譲渡する財産は次のとおりです。

○譲渡する財産

- ・校舎
鉄筋コンクリート造3階建
- ・体育館
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- ・附属建物
物置、ポンプ室、部室、
ごみ集積庫、自転車置場一式

○譲渡の相手方

弘前市大字堅田字神田398番地
日本ハルマ株式会社
代表取締役 伊徳 行

教育委員会教育長及び教育委員会委員の任命について



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定による、黒石市教育委員会教育長及び教育委員会委員の任命について同意しました。

なお、教育長の任期は令和4年11月20日までの3年間となり、委員の任期は令和5年11月20日までの4年間となります。

教育委員会教育長

住所 黒石市美原町103番地7
氏名 山内 孝 行
生年月日 昭和30年1月10日

教育委員会委員

住所 黒石市大字牡丹平字福民北70番地1
氏名 柿崎 博
生年月日 昭和43年1月20日

議案等に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。
議長（工藤和子）は採決に加わっていません。
※賛否が分かれた議案等のみを掲載しております。

	採決結果	工藤和子	黒石ナナ子	三上廣大	大平陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝雅昭	佐々木隆	今 大介	工藤和行	工藤俊広	北山一衛	中田博文	後藤秀憲	村上啓二	村上隆昭
一般会計決算認定	可決	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国保会計決算認定	可決	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険決算認定	可決	－	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

10人が市政を問う

第3回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が自ら作成し、掲載しています。内容等でご不明な点は、議員に直接お尋ねください。

また議会ホームページでは、会議録の公開を行っております。一般質問の内容はPDFファイルにて御覧いただけます。

携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



黒石ナナ子 議員
新自民・公明クラブ

一括方式

問

イザベラ・バードが世界に紹介した当市の原風景を新たにPRしてみてもどうか

答

他自治体の取組み等を参考にターゲットを明確にした上でコース造成などが出来るかも含め、調査研究してまいります。

問

農産物ブランド化への取組み状況は

答

南中野メロン『黄美香』は全国的に生産者が少ない品種であり、ブランド化への農産物の1つと考えております。8月には市内のスーパールにおいてトップセールスを実施し、魅力発信に努めました。

その他の質問

- ① 国際交流員について
- ② 黒石温泉郷の魅力発信について
- ③ 女性農業者の育成について

問

津軽圏域の観光を推進する(仮称)津軽圏域DMOへの対応は

答

DMOとは地域の稼ぐ力を引き出し、観光地域づくりのかじ取り役となる新しい法人です。(仮称)津軽圏域DMOの一員として国に対し、登録申請をしています。

問

市職員が地域の会議や行事に協力する「職員エリア担当制度」の導入の考えは

答

制度について研究しながら、地域へのかかわり方について職員研修を活用し、自発的な参加を促していきます。

その他の質問

- ① 学習指導要領の実施について
- ② 子供たちのスポーツ環境について
- ③ 黒石ねぶた祭り、黒石よされについて



大溝 雅昭 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式



大平 陽子 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 当市における幼児の発達支援対策について

答 市に申請した後、専門機関で支援を受けられることとなります。10月からは、利用料が無料となりますので、チラシなどを配布し、周知を図っていきます。

問 黒石中学校の教育環境について、敷地内をスクールバスが通り抜けできる通路を整備する考えはあるか

答 用地買収しなければならぬという課題もあり、現段階での対応は難しいと考えます。

その他の質問

- ① 当市の公共施設での受動喫煙対策について
- ② 黒石病院の産科と小児科の医師確保の見通しについて
- ③ 当市の低投票率対策について



工藤 和行 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 消防団の定員及び各分団の充足率について

答 昭和52年から現在の定員860人としており、9月1日における実人員は773人です。充足率は本部94・2%、第一分団87・1%、第二分団90%、第三分団97・1%、第四分団92・5%、第五分団90%、第六分団91・5%、第七分団76・3%、第八分団86・9%、第九分団95・3%となっています。

問 現定員となつてから長期間経っており、住宅環境など市内状況も大きく変わっているが、各部の配置、統合などを考えてはどうか

答 消防団としても検討課題としており、地元住民の意見も聞きながら現状に即した体制の構築をしていきたいと考えております。



三上 廣大 議員
黒石市民倶楽部

一問一答方式

問 小学校統合後も学校開放利用団体が引き続き閉校後の学校体育施設や代替として市内体育施設を利用することはできないか

答 閉校後の空き校舎については、閉校後に地区協議会と協議し、活用を検討することとしておりますが、今後、利活用の方針が決まるまでは、グラウンドの貸付は可能と考えております。

また、少年野球等の団体については、スポーツ振興のためにも公共的団体の使用目的とし、無償貸し付けできるものと考えております。一市民一スポーツを広め、スポーツに親しめる環境づくりのため、まずは今ある学校施設の有効活用について検討してまいります。





北山 一衛 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 黒石インターチェンジロジスティクスクロッシングの現状と今後について

答 市では、道路、上下水道整備を進めています。進出企業は5社で、紅屋商事（株）が既に着工しており、他4社は来年度から着工予定です。今後は、物流拠点として発展していけるよう、市に合った開発方法を検討し、国や県と打合せを重ねていきたいと考えております。

問 市のスマート農業の可能性について

答 期待はしていますが、導入への負担は大きく、本格導入が進んでいないのが現状です。農業者のニーズに合った技術が開発されるよう国に働きかけ、最新情報を入手できる環境や相談体制の充実を図っていききたいと考えています。



工藤 俊広 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 住民票を移さない学生の不在者投票の取扱いと投票所入場券における宣誓書の印字について

答 不在者投票等で投票できる選挙人は、その住所で客観的な生活の実態を備えていることが必要です。また、宣誓書の印字についてはスペースが限られていますが、他市を参考にしながら検討してまいります。

問 市立図書館における司書の必要性について

答 図書館司書の必要性・重要性は十分認識しています。市立図書館が市民の皆様を活用していただけるよう、司書の配置について検討してまいります。

その他の質問
①議会運営における情報端末の導入について



大久保朝泰 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 六郷小学校給食用厨房爆発事故について

答 裁判については、青森地方裁判所弘前支部で行われており、当分は争点と証拠の整理のための弁論準備手続きが続くと思われれます。

問 学童保育施設における環境整備について

答 市内10施設中4施設にエアコンが設置されています。夏休みの暑い時期を過ごす施設でもあることから、エアコンは必要と考え、設置に向けて検討してまいります。

問 小学校の遊具の状況について

答 現在、53台設置され、安全点検を年1回実施し、不具合の場合は可能な限り修繕しています。



中田 博文 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 スクールバスについての要望、台数及び経費は

答 「全生徒もしくは1年生だけでも全員利用させてほしい」等の要望がありました。しかし、現在の通学距離がおおむね2キロメートル以内であることから、乗車基準は、適切だと考えております。保護者へはアンケートを実施しており、意見を精査し、可能な限り対応していきます。
なお、来年度のバスの台数は合計11台で、経費の総額は約1億円となる見込みです。

問 会計年度任用職員について

答 臨時職員の処遇改善を目的として、全国的に任用が曖昧だった職員の任用根拠を適正化し、期末手当等の支給を可能とするものです。



工藤 禎子 議員
日本共産党

一問一答方式

問 市立図書館を当市の景観に配慮した外観にし、司書や障がい者、外国人にも対応できる人材の配置も検討してはどうか

答 施設の外観は、基本構想・基本計画において、市の景観条例等との整合性を図りつつ、市民や有識者の意見を聞きながら、街並みに合ったデザイン等の基本的な考え方を検討し、来年度の実施設設計の中で決まるものとなります。
司書の配置は、専門性の高いサービスや役割を担うことが想定されますので、検討してまいります。

答 障がい者等への対応は、施設のバリアフリー化や各種支援団体との連携を図ることが考えられます。
図書館はユニバーサルデザインのまちづくりを担う施設として、できるだけ多くの方々が読書に親しみ、必要な情報を得られる環境づくりに努めてまいります。

議員研修会に参加しました

10月8日、青森県市議会議長会が主催する「元号と日本文化」を演題とした議員研修会が三沢市で開催され、議員16名が参加しました。



三沢市で開催された議員研修会の様子

2040未来ビジョン出前セミナーに参加してきました

11月12日、全国市議会議長会が主催する「少子高齢化社会における社会保険政策と自治体の役割」をテーマとした東北部会セミナーが青森市で開催され、議員7名が参加しました。

議員活動報告書

▶ 黒石市民倶楽部

- ・佐々木 隆
- ・後藤 秀憲
- ・三上 廣大

「ナセバ」は文化交流・情報発信の拠点を目指し、図書館と市民ギャラリーが一つとなって建設されました。

「まなびあテラス」は美術館、カフェ、市民活動支援センターが一つとなっています。PFI方式を採用し、民間のノウハウをフル活用した結果、開館3年目には年間利用者数が80万人を超えたとのことです。

視察先

- ・山形県米沢市
「市立米沢図書館(ナセバ)について」(平成28年7月開館)
- ・山形県東根市
「東根市公益文化施設(まなびあテラス)について」(平成28年11月開館)

両館とも従来の図書館機能の他に市民の文化活動支援や賑わい創出の機能を持った複合施設となっており、当市においても今後、建設予定の図書館について、まずは市民がどんな機能を持った図書館を望んでいるのか、どんな図書館なら多くの方に利用してもらえるのかを市民、行政、関係各団体とのさらなる協議と調査が必要であることを改めて感じました。



市立米沢図書館(壁面書庫)

期間

- ・令和元年9月24日～26日

議員活動報告書

▶ 新自民・公明クラブ

- ・中田 博文
- ・北山 一衛
- ・工藤 俊広
- ・大溝 雅昭
- ・大久保 朝泰
- ・黒石 ナナ子

大和郡山市は城下町に古い町屋が点在しており、街並みの整備事業を平成15年から進めていますが、10地区のうち3地区しか進んでいません。現在は景観整備計画の策定により整備を進めようとしています。貴重な建物は市が購入した後、整備を行い、公開しており、貴重な建物の保存の重要性を感じました。

視察先

- ・奈良県大和郡山市
「歴史景観まちづくりと地域活性化事業について」
- ・京都府城陽市
「手で輪を広げる城陽市手話言語条例について」

城陽市では平成27年に京都府で初めて手話言語条例を制定しました。市職員・企業への手話研修、手話奉仕員養成やステップアップ講座、出前講座、啓発資材の作成、街頭啓発、保育園等での手話教室などに取り組んでいます。手話施策推進会議を設置し、関係者と直接話をして事業に活かしていること、グッズを作成して啓発していることなどが参考になりました。



平成30年から一般公開を開始した「町家物語館」(大和郡山市)

期間

- ・令和元年11月6日～8日

編集後記

市民の皆さんは、議員はどんなことをしているのだろうか?と知っている方も多いと思います。編集の仕事にも携わっている経験を生かして、市民の皆さんと議会との距離が縮まり、議会や議員活動にも興味を持っていただけるような紙面づくりを目指していきます。ご意見や要望もお待ちしています。議会の傍聴にも是非お越しください。(大平 陽子)

議会だより編集特別委員会

委員長	今 大介
副委員長	三上 廣大
委員	大平 陽子
〃	黒石 ナナ子
〃	大溝 雅昭
〃	工藤 禎子